



放送大学栃木学習センター

とちの実

Tochinomi



目次

巻頭言	p.2～3
2021年度 博士論文・修士論文・卒業研究発表会のご報告	p.3
単位認定試験	p.4～6
次学期の準備	p.7～8
図書だより	p.8

教務だより／公開講演会のご案内	p.9
特別ゼミ	p.10～11
卒業生からのアドバイス	p.12～14
キャンパスカレンダー	p.15
学習相談日	p.16

巻頭言

栃木県の土「三色アイス」

宇都宮大学教授

平井 英明

日光街道を北上し、著名な日光杉並木に目を奪われながら、車を走らせると「七本桜」という地名に行き当たる。その「七本桜」という地名は、実は、海外の土壌の研究者にとって大変ポピュラーな名前だ。その理由は、1999年にアメリカ農務省が発刊した Soil Taxonomy という世界の土壌分類の根幹となる書物の中に、日本から唯一土の横顔が紹介されているのが「七本桜」の地名が記された「Shichihonzakura series」であるからだ。その土の横顔を写真に示したが、黒、黄色、赤色と三色にきれいに分かれていて、とても美しく目に映る。この土壌は、土壌学者の間では、通称「三色アイス」と呼ばれている。この三色アイスの由来を少し調べてみると、“大正12年に、アメリカでアイスクリームの製造技術を学んで帰国した佐藤貢が、北海道札幌で雪印乳業の前身である「自助園農場」よりアイスクリームを発売します。このチョコレート/ストロベリー/レモンの3色からなるアイスクリーム「自助園アイスクリーム」と呼ばれ大変な人気商品となりました。”(https://www.icecream-navi.net/history/history_Japan1.html)”とある。1923年に現在の3色アイスの原型が作られたのだが、この後、3色のアイスクリームは、近畿圏ではセンタン王将三色アイス、関東圏では、フタバ食品の三色トリノに受け継がれているようだ。



写真の土の横顔を見ると、上から、黒、黄色、赤色だから、チョコレート、レモン、ストロベリーの色に調和している。さて、3つの土層の由来だが、最も下のストロベリー色をした土層は、今市軽石層と呼ばれ、近年の中村らの研究では、約1万5千年前に、男体山が噴火した時に、堆積した火山噴出物 (https://www.jstage.jst.go.jp/article/vsj/2011/0/2011_73/_pdf/-char/ja、中村洋一・松井誠一郎・布川嘉英、2011)で、堆積後は、現在の寒冷な環境下ではあったが、その後多様な環境条件下で風化作用を受けて生成した土層で、風化作用によって粘土の生成が起こることで粘りが生じている。この粘りは、表面積のとても大きい粘土鉱物に由来するが、水を保つ力が大変大きい特徴を持っている。中ほどの黄色い層は、今市軽石層が風化した土層よりも、粘り強さが若干弱く、ザラザラした質感をもつ。最後に、黒い色をした土層であるが、15千年よりも新しく生成した土層であるが、粒子の細かい火山噴出物(火山灰)を原料として、動植物の営みがあったことやその動植物を利用する人の活動により生成した。

写真の最も地表面に近い土層では、自然の落葉や落枝が地表面に堆積し、それを土壌の生物や微生物の共同作業による分解が起こるとともに、土壌有機物の生成が起こる。すると、水はけと水持ちと

いう、相反する性質を有する団粒という形態を有する表土が生成し、養水分を吸収するために細根が縦横に伸びている。その土壌有機物中には、腐植物質が含まれていて、土に黒味を与えることが知られている。さらに、火入れによって加熱が起こると、より黒味が呈する物質が生成増加する。自然の落葉落枝と生物の営みと人の営みにより生成した土層が黒い土層である。地表の下深くにみられる地層とは異なる性質をもち、地球上のあらゆる生命を支え育んでいる。その機能は、常に動植物に養水分を絶え間なく与えるとともに、様々な物質をろ過・浄化し、清浄な水を供給してくれているかけがえのない存在で、無償の愛を感じるのである。

2021年度 博士論文・修士論文・卒業研究発表会のご報告

3月27日(日)「2021年度博士論文・修士論文・卒業研究発表会」を行い、3名の方に発表いただきました。

それぞれの研究テーマは下記の通りです。

卒業論文「宇都宮朝綱について」・・・・・・・・・・・・・・・・・・大関みどり氏
修士論文「栃木県が生んだ文豪 山本有三研究 -作品と人-」・・・・・・・・・・田中幸男氏
博士論文「高齢者のテレビ視聴とフレイルの関係について -フレイルの人がテレビ視聴に求めるもの-」
・・・・・・・・・・・・・・・・・・荻原牧子氏

客員教員の先生方をはじめ約40名の学生の皆さんも参加し、発表に熱心に耳を傾けるとともに、活発な質疑応答が行われました。研究の進め方はもちろん、新型コロナウイルスの流行に伴うWebでの指導についてなど、卒業研究の履修や大学院進学が決まっている方々や検討している方々にとっても、大いに参考になったようです。



大関みどり氏の「宇都宮朝綱について」の発表の様子



荻原牧子氏の「高齢者のテレビ視聴とフレイルの関係について -フレイルの人がテレビ視聴に求めるもの-」の発表の様子



田中幸男氏の「栃木県が生んだ文豪 山本有三研究 -作品と人-」の発表の様子

単位認定試験

放送大学では、新型コロナウイルス感染拡大を契機に単位認定試験の実施方法の改善に取り組んでおり、2022年度第1学期単位認定試験については Web 受験方式(※一部科目のみ郵送受験方式)にて実施します。

詳しくは「学生生活の葉」(教養学部 p.68~77、大学院 p.67~76) や放送大学ウェブサイト「2022年度第1学期単位認定試験についてのご案内」(<https://www.ouj.ac.jp/news/2022/information/webshiken.html>)もご確認ください。

【Web 受験方式】

- ・自宅からインターネットを通じて Web 単位認定試験システムにアクセスし、問題閲覧・回答を行います。
- ・1科目 50 分の制限時間があります。
- ・科目ごとに「択一式」「記述式」「(択一式と記述式の)併用式」のいずれかの形式で出題されます。
(各科目の実施方法については『2022年度第1学期授業科目案内』に記載されています)

【試験期間】

2022年7月15日(金)9:00~7月26日(火)17:00

※試験期間中ならばいつでも自宅等から受験可能ですが、一時停止不可、1回のみ受験になります。
※実際の受験の際にスムーズに操作できるよう、試験期間前までに必ず、受験に使用する予定の端末から Web 単位認定試験体験版を操作してください。

【郵送受験方式】

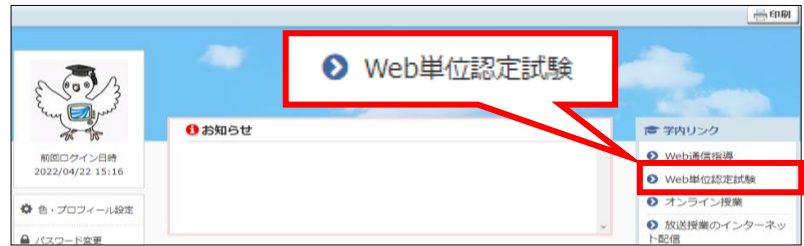
- ・郵送受験に該当する授業は「正多面体と素数('21)」、「日本美術史の近代とその外部('18)」、「量子科学('19)」のみです。
- ・試験時間の制限はありません。
- ・試験1週間前ごろに大学本部から送られる問題用紙・解答用紙・提出用封筒を用いて、郵送で解答を提出します。出題形式は「記述式」または「併用式」です。

【提出期間】

2022年7月15日(金)~7月26日(火)《必着》

※7月8日(金)までに『受験票』『郵送受験科目の問題用紙・解答用紙・提出用封筒・提出方法詳細』が届かない場合は大学本部(043-276-5111)へお問い合わせください。

Web 単位認定試験



(1) アクセス方法

システムWAKABA(<https://www.wakaba.ouj.ac.jp/portal/>)にログインし、TOP 画面右側「学内リンク」から「Web 単位認定試験」をクリックします。

※ログイン ID・パスワードは、入学許可証(圧着はがき)に記載されています。

※パスワードを忘れてしまった場合など、ログインできない方は栃木学習センター窓口(028-632-0572)までお問い合わせください。

(2) 操作の流れ

①科目選択

「科目一覧」から受験する科目をクリックします。

※「Web 単位認定試験体験版」を選ぶことで、練習したい出題形式の体験をすることができます。

②受験開始

注意事項を確認の上、「問題を受験する」をクリックして受験を開始します。

※一度受験を開始すると制限時間タイマーのカウントダウンが始まります。タイマーを一時停止することはできません。

③解答作成

「択一式問題」
問題文の下に選択肢がセットで表示され、正解だと思う選択肢をクリックすることで解答します。

「記述式問題」
問題文の下に解答記入欄がセットで表示され、解答記入欄に文字入力することで解答します。解答途中で画面左下にある「一時保存」ボタンをクリックすることで、解答内容をこまめに保存しておくことが可能です。

※併用式の場合は、択一と記述の両方の形式で出題されます。

④保存確認

解答作成が終わったら「保存して次へ」をクリックして解答内容を保存し、確認画面で解答状態を確認します。解答を修正する場合は「受験に戻る」をクリックして解答作成画面に戻ります。

※「保存して次へ」を押さずに解答作成画面を離れると、それまでの解答内容が失われる場合がございます。

⑤解答提出

確認画面で解答状態を確認し、問題がなければ「すべての解答を送信して終了する」ボタンをクリックし、解答を提出します。

※「全ての解答を送信して終了する」を押さずに制限時間が経過した場合、制限時間経過時点の解答内容が自動送信されます。

※体験版は何度でも解答提出できますが、本番の単位認定試験は一度しか解答提出できませんのでご注意ください。

より詳しい操作方法は、Web 単位認定試験システム画面左側「操作ガイド」をクリックして表示される操作ガイドをご確認ください。

試験の結果

試験結果は8月下旬に「成績通知書」によって通知します。また、システム WAKABA「教務情報→履修成績照会」でも成績を確認することができます。（「成績通知書」には通信指導不合格および未提出の科目は掲載されません。）

※成績通知書の到着を待っていると科目登録に間に合わない可能性があるため、システム WAKABA での確認や、システム WAKABA から科目登録を行うことをおすすめしています。

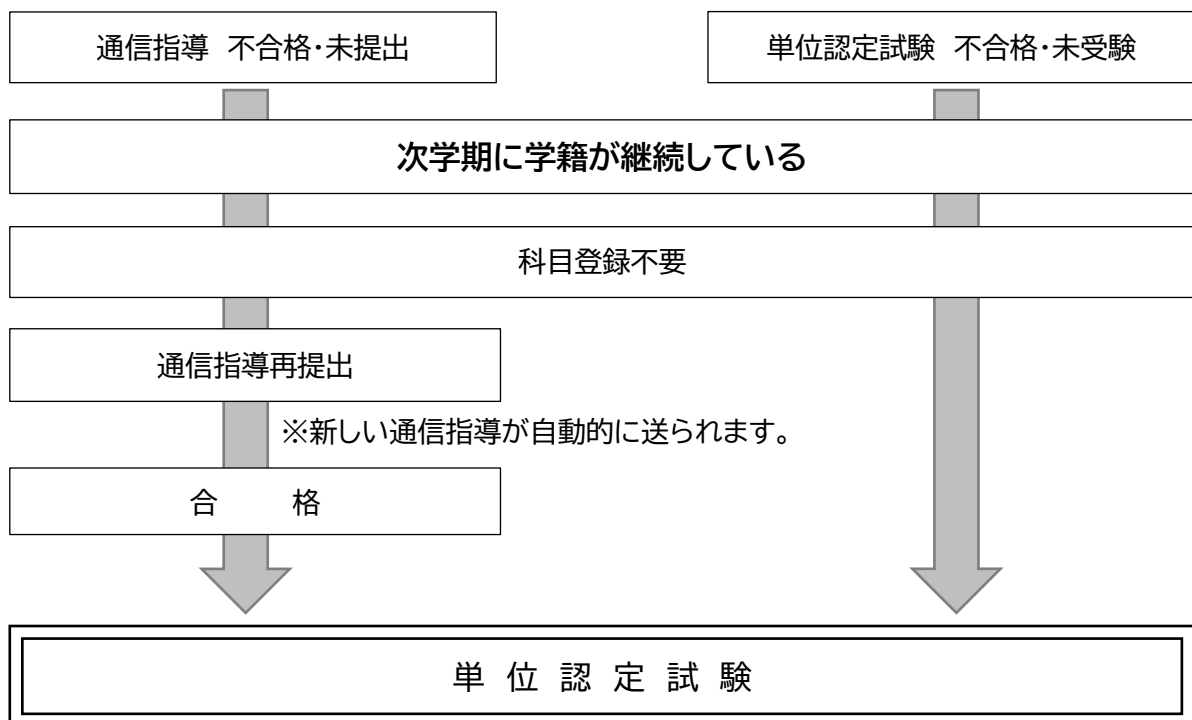
再試験について

今学期に登録した科目のうち、[通信指導 不合格・未提出]または[単位認定試験 不合格・未受験]だった科目については、次学期に学籍がある場合に限り、科目登録をしなくても再試験を受けることができます。

再試験にかかる授業料は不要です。

今学期で在学期間が終了する方は、継続入学の手続きが必要です。

詳しくは「学生生活の栞」(教養学部 p.74～、大学院 p.73～)を参照してください。



次学期の準備(科目登録・継続入学)

科目登録申請開始の8日前になっても『科目登録申請要項』などの関係資料が到着しない場合、あるいは紛失した場合は、大学本部(TEL:043-276-5111)にご連絡ください。

次学期に学籍がある方

科目登録申請

【郵送】 8月15日(月)～8月30日(火)大学本部必着

7月中旬に大学本部から送付される「科目登録申請要項」に添付されている「科目登録申請票」に必要事項を記入し、大学本部に郵送してください。

【システムWAKABA】 8月15日(月)9:00～8月31日(水)24:00

※教養学部生で面接授業(スクーリング)を登録したい方は、併せて申請を行ってください。

※「郵送」と「システムWAKABA」の重複申請はできません。

次学期に学籍がなく、継続入学を希望する方

継続入学出願

■面接授業(スクーリング)を登録しない方

【郵送】 ≪第1回≫ 6月10日(金)～8月31日(水)大学本部必着

≪第2回≫ 9月 1日(木)～9月13日(火)大学本部必着

7月中旬に大学本部から送付される「継続入学用出願票」または学習センター等で配布している「学生募集要項」に添付されている「出願票」に必要事項を記入し、大学本部に郵送してください。

【システムWAKABA】

≪第1回≫ 6月10日(金)9:00～8月31日(水)24:00

≪第2回≫ 9月 1日(木)0:00～9月13日(火)17:00

※「郵送」と「システムWAKABA」の重複出願はできません。

■面接授業(スクーリング)を登録する方

【システムWAKABA】 8月15日(日)9:00～8月31日(水)24:00

ログインし、「教務情報>継続入学申請」にて出願してください。

※郵送での出願はできません。

※面接授業(スクーリング)のみの出願はできません。放送授業を1科目以上、必ず登録してください。

■再試験のみを希望する方

出願票裏面の科目登録欄は空白にし、●印の設問欄(桃色)の回答を「はい」として○を記入してください。

この場合の学費は入学料のみとなります。

≪卒業が見込まれる全科履修生の方≫

7月中旬に送付される「卒業見込み者宛て連絡事項」および8月下旬に送付される「卒業認定通知」により卒業となるかを確認のうえ、必要な手続きをしてください。

詳しくは『学生生活の栞』p.97～を参照してください。

卒業とならない方	次学期に学籍がある場合	科目登録申請
	次学期に学籍がなく、引き続き在学を希望する場合	継続入学出願
卒業となる方	再入学を希望する場合	

図書だより

図書・視聴学習室閉室日のお知らせ

8月4日(木)は蔵書点検のため、10月2日(日)は「学位記授与式」等開催のため、どちらも終日閉室となります。図書や放送教材の閲覧、学生用パソコンの利用はできませんので、ご了承ください。

また、7月15日(金)～7月26日(火)の試験実施期間中も同様に終日閉室となります。

「学生図書リクエスト」受け付け中

「学生図書リクエスト」とは、皆さまから学習用の図書の希望を受け付け、本部で選定し、購入する制度です。

【受付期間】 2022年12月22日(木)まで(前後することがあります)

【対象者】 全科履修生・選科履修生、修士全科履修生・修士選科履修生・博士全科生(お一人につき月1点まで)

【対象図書】 図書館未所蔵のもので、本学における勉学に資する図書(概ね1,000円～30,000円)

【所蔵場所】 放送大学附属図書館 ※学習センター所蔵ではありません。

【申し込み】 栃木学習センター図書受け付けカウンター、または放送大学附属図書館 OPAC

教務だより

2023年度卒業研究履修について

2023年度卒業研修の履修を希望または検討中の方は、栃木学習センターまで連絡するか、栃木学習センターウェブサイトから申し込みをしてください。『卒業研究履修の手引き』および「卒業研究履修ガイダンス資料」を送付いたします。なお、『卒業研究履修の手引き』をお持ちでないと、履修申請ができませんのでご注意ください。

疑問点があった際には、随時栃木学習センターまで連絡してください。

【申請書提出期間】8月12日(金)～8月18日(木)大学本部必着

2023年度大学院修士・博士全科生募集(4月入学)

出願書類については、放送大学ウェブサイトの「資料請求」から入手することができます。

【出願受付期間】8月15日(月)～8月26日(金)大学本部必着

公開講演会のご案内

以下のとおり、公開講演会を予定しています。

【日時】2022年8月28日(日)

【講師】小川 時洋 氏(科学警察研究所法科学第四部
情報科学第一研究室 室長)

タイトルは現在未定ですが、嘘と記憶など、犯罪と心理学の関連をふくめた、心理学の実践的な話についての講演となる予定です。詳細が決まり次第、学習センターウェブサイトにてお知らせいたします。

どうぞお楽しみに！

特別ゼミのご案内

受付期間：7月8日(金)9：00～各ゼミ開講1週間前まで

【参加資格】栃木学習センターに所属する学生(学生種別は不問。ただし休学者は除く。)

【注意事項】※受講料は無料ですが、材料費など実費がかかる場合があります。

※正規の単位としては認められません。

※全ゼミ先着順です。お早めにお申し込みください。

※新型コロナウイルス感染症の状況により中止になる場合があります。

【申込方法】事務室窓口・電話・FAX のいずれかの方法でお申し込みください。

お申し込み際は、氏名・学生番号・希望ゼミ名・ご連絡先をお伝えください。

FAX の場合は、明記してください。

①パソコン入門

講師:佐藤 美恵(さとう みえ) [専門分野/情報工学]

面接授業「新・初歩からのパソコン」でパソコンに触れたばかりの方など、パソコン初心者を対象としたゼミです。面接授業「新・初歩からのパソコン」で扱うことができなかった WORD の使い方(テキスト 2.5 節など)を中心に、WORD の便利な機能や、表や図が入ったレポートの作成方法を学習します。

日	時	8月20日(土)9:30~17:30	定員	8名
会	場	演習室 I		
持	ち	物 USBメモリ		

②戦争と平和の歴史から学ぶ

講師:清水 奈名子(しみず ななこ) [専門分野/国際関係論]

多数の人々が平和を望んでいるにもかかわらず、現代にいたるまで戦争は無くなっていません。なぜ平和を維持することは難しく、一般市民が犠牲となる戦争が発生してしまうのでしょうか。この授業では、映像資料などを使いながら、戦争と平和をめぐる思想の歴史を概観することで、戦争と平和の歴史から私たちは何を学ぶ必要があるのかについて考えます。

日	時	8月20日(土)9:30~17:30	定員	10名
会	場	小講義室		
持	ち	物 ノートと筆記用具		

③地震の科学と地震防災

講師:伊東 明彦(いとう あきひこ) [専門分野/理科教育学、地球物理学]

日本は世界でも有数の地震多発国です。日本で暮らしていくためには、地震とは何か、地震に対してどのように対応すべきかなど、地震についての基本的な事項を理解しておく必要があります。この特別ゼミでは、以下のような項目についてお話しするとともに、地震についての皆さんの質問にできる限り答えていきたいと思えます。

1. 地震の科学
地震とは何か、地震はなぜ起こる、地震観測の仕組み。
2. 地震に関する最新の情報
スロー地震とはなにか、南海トラフ巨大地震・首都圏直下地震などは本当に起こるのか。

日	時	8月27日(土)13:00~17:00	定員	10名
会	場	演習室Ⅱ		
持	ち	物なし		

④おいしさを科学する

講師:大森 玲子(おおもり れいこ) [専門分野/食物学、食生活学]

食材から加工食品を作る過程で、ちょっとした材料の違いから、風味の異なる食品が生み出されることがあります。この過程への理解を体験的に深めながら、私たちが味わい、おいしいと感じるときに、どのような要因に影響を受けるのか考えます。

日	時	9月3日(土)9:30~17:30	定員	8名
会	場	陽東キャンパス 11号館1階 カフェコモンズ		
持	ち	物 エプロン、スリッパ、マスク、食材費 500円程度		

⑤心理検査に触れてみる

講師:石川 隆行(いしかわ たかゆき) [専門分野/発達心理学]

ご存知のように、心理学では、人間の知的発達や心理状態を理解するために心理検査があります。当日は、質問紙法による簡単な知能検査や感情に関する検査を実施したいと思います(昨年度、2学期(2022年3月5日)に実施した内容と同様となります)。

日	時	9月10日(土)13:00~17:00	定員	4名
会	場	小講義室		
持	ち	物なし		

卒業生からのメッセージ

「織物のように」 荻原牧子 ～大学院博士課程後期 生活健康科学プログラム修了～

結城紬は、栃木県小山市でも作られている。結城紬の文様は実に細かい。反物の完成までには、繭から糸を引き出し、糸くくりをし、染色し、機を通して布に仕上げるといった綿密な根気の要る作業の連続で、気の遠くなるような時間が費やされる。この一連の過程は、研究論文を仕上げる過程と似ていると思う。一つのアイデアを広げ、余分な屑は取り去り、適切な方法で分析し結論に導くという作業が必要だからである。あまりにも大変な作業なので、途中で放り出したくなることもあるし、曖昧模糊とした事象から輪郭ある像が浮き出して驚くこともある。そして、最終結論に至る過程は、大変だけれど楽しい。これが「考えること」の醍醐味なのだと思う。このような経験へと導いてくださるのが、放送大学の先生方である。先生は織物の作り方を様々な方法で教授くださるので、あとは私達自身が反物を織り上げるのみである。

「教養学部全コースを卒業して」 大垣 崇 ～教養学部 自然と環境コース卒業～

私が初めて入学したのは1996年で、2008年3月に最初の卒業を迎えました。この時、本部主催の学位記授与式に出席しましたが、そこで私と同様に卒業を迎えた方々の厳粛な雰囲気、学長式辞等が今でも大切な思い出として、脳裏に焼き付いています。そして何より、手渡された卒業証書・学位記は、この第1回目の卒業時のものが最もうれしい記憶として残っています。みなさんも卒業時には、ぜひとも出席なさってみてください。放送授業の単位取得に向けては、授業を視聴し、教科書を読み、通信指導問題の解答・解説を読み込んで試験に臨めば、概ね合格点がとれていました。こうして私は全コースを卒業でき、身についた知識を仕事や生活で活かしていることに幸福を感じています。名誉学生の称号も付与していただき、放送大学栃木学習センターの職員や客員教員の皆様をはじめ、関係者の方々へ深く感謝申し上げます。



「のんびり学び続ける」 落合功夫 ～教養学部 心理と教育コース卒業～

退職を機に放送大学へ入学。しかし再就職していたので退職前と使える自由時間は何ら変わらず、卒業できるか不安に。そこで卒業の目標を2年から3年にして、のんびり学習しようと考えたら、気分が大分楽になり目標通り3年で卒業。この3月には3コース目を卒業する事が出来ました。気負わずマイペースが大事ですね。

放送大学は自宅学習が基本、学生同士の交流がありません。そこで出来る限り面接授業を受ける事に。栃木学習センターだけでなく各地の学習センターにも通いました。授業の中では生徒同士の意見交換もあり、久しぶりに学生に戻った気分になりました。

しかし、この2年間はコロナ禍、面接授業も受けられず単位認定試験も郵送、一度も学習センターに通う事なく卒業という寂しい状況でした。

4月から再入学したので、また面接授業で学習センターに通える事を期待しています。そして、のんびりと6コース卒業を目指そうと考えています。



「今、生きがいの一つです」 田中康子 ～教養学部 生活と福祉コース卒業～

定年退職後、最初に単位を取得したのは2010年でした。あれから12年、4コースを卒業することができました。

初めは「心理と教育コース」をとり認定心理士の資格を得ました。臨床心理士(当時は公認心理士はありませんでした。)を目指して大学院を考えましたが、難しいと判断して放送大学を辞めることも視野に入れました。

しかし、学習しているうちに、もう少し続けたいという気持ちが出てきました。それは放送大学の講義が、今生きている社会を理解するのに大変役に立つからです。そして、先輩の中に、全コースを修了した名誉学生がおられ、センターの壁にお名前が掲示されていて、眺めるたびに、自分もあなりたいという思いが強くなってきたからです。

不得手なコースの卒業目指して頑張りたいと思います。今、放送大学は生きがいの一つです。





「勉強ができる幸せと感謝する気持ちを忘れない」 前川博亮

～教養学部 社会と産業コース卒業～

この度、放送大学教養学部「社会と産業コース」を卒業することになりました。
栃木学習センター伊東所長をはじめ、職員のみなさまにはたくさんサポートして頂きました。

この場をお借りしてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

私が放送大学でもう一度勉強しようと思ったのは、2016年にカンボジアへ行ったことがきっかけでした。

カンボジアは教員不足や貧困による教育格差など、学校で勉強したくても満足に勉強できない子供達がたくさんいます。

特に貧困家庭では家事労働の為、勉強に費やす時間がなく、学校を卒業する直前で中退し働いてしまいます。

また、そういった子供達にはきちんとケアがされず、学業の遅れなども放置されたままになっています。

勉強ができる環境にある中で勉強することを蔑ろにしていた私は、自分が情けないと感じました。

カンボジアからタイを経由し日本へ帰国した私は、すぐさま10月入学で放送大学に出願し全科履修生として勉強を始めました。

放送大学に入学して辛かったこと、楽しかったことたくさんありましたが、今思い返せばいい思い出です。

本当によく頑張りました。自分で自分を褒めたいと思います。

2022年の1学期からは「人間と文化コース」に学士入学し再スタートします。

卒業研究や卒業論文にも挑戦し、それらがちゃんと出来る様になった暁には放送大学大学院へ進学したいと考えています。

勉強ができる幸せと感謝する気持ちを忘れず、これからも前向きに頑張ります。

～学生のみなさんへ～

たくさん友達を作って下さい。

友達がたくさん出来ると勉強も楽しくなります。

そして、放送大学で勉強して良かった、放送大学を卒業して良かったと思える様なキャンパスライフを送って下さい。



キャンパスカレンダー

(面)…面接授業 (ゼ)…特別ゼミ …閉所日

7月

月	火	水	木	金	土	日
				1	2 (面)	3 (面)
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15 ☆	16 ☆	17 ☆
18 ☆	19 ☆	20 ☆	21 ☆	22 ☆	23 ☆	24 ☆
25 ☆	26 ☆	27	28	29	30	31

【7月の予定】

- 2日 (面) 「心理学実験3」2日目
「日光戦場ヶ原と周辺の植生動態」1日目
- 3日 (面) 「日光戦場ヶ原と周辺の植生動態」2日目
- 15～26日 ☆ 単位認定試験実施期間
(試験実施期間中 図書・視聴覚室は終日閉室)

8月

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4 (図)	5	6	7
8	9	10	11	12 (卒)	13	14
15 ◆	16	17 !	18	19	20 (ゼ)	21
22	23	24	25	26	27 (ゼ)	28
29	30	31				

【8月の予定】

- 4日 (図) 図書・視聴覚室 閉室日
- 12日 (卒) 2023年度 卒業研究履修申請
(8/18まで)
- 15日 ◆ 2023年度大学院全生出願受付
(修士全科目・博士全科目 8/26まで)
2022年度第2学期 科目登録申請期間
(郵送 8/30 必着・Web 8/31 まで)
- 17日 ! 夏季集中(司書教諭)通信指導提出期限
- 20日 (ゼ) 「パソコン入門」
(ゼ) 「戦争と平和の歴史から学ぶ」
- 27日 (ゼ) 「地震の科学と地震防災」

9月

月	火	水	木	金	土	日
			1 ◎	2	3 (ゼ)	4
5	6	7	8	9	10 (ゼ)	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

【9月の予定】

- 1日 ◎ 2022年度第2学期出願受付開始
(第2回)(9/13 必着、Web 17時まで)
- 3日 (図) 「おいしさを科学する」
- 10日 (卒) 「心理検査に触れてみる」

変更になる場合がありますので、学習センターウェブサイトをご確認ください。

学習相談日(7月～9月)

主に毎週土曜日(13:00～17:00)に学習相談日を設けています。

ご希望の方は「学習相談申込書」にご記入の上、事務室で申し込んでください。

手続きの詳細につきましては、栃木学習センターウェブサイトまたは事務室まで問い合わせてください。

※新型コロナウイルス感染症の状況により中止になる場合があります。

※先生の都合により日程が変更になる場合がありますのでご了承ください。

※先生や相談内容により事前に予約が必要な場合があります。

※専門分野とは各教員の核となる分野であり、これよりも広い分野の学習相談に応じることができます。

教員名/現職	専門分野	相談日		
石川 隆行 宇都宮大学准教授	発達心理学	7/9	8/6	9/3
大森 玲子 宇都宮大学教授	食物学 食生活学	7/23	8/20	9/17
佐々木 一隆 宇都宮大学教授	英語学 言語学	7/16	8/20	9/17
佐藤 美恵 宇都宮大学教授	情報工学	7/30	8/6	9/17
清水 奈名子 宇都宮大学准教授	国際関係論	7/23	8/6	9/24
西谷 健次 作新学院大学教授	心理学 教育心理学	7/23	8/27	9/24
平井 英明 宇都宮大学教授	土壌学	7/16	8/20	9/3
渡邊 信一 宇都宮大学准教授	工学教育 感性工学	7/9	8/6	9/10
伊東 明彦 栃木学習センター所長	理科教育学 地球物理学	随時対応		

放送大学栃木学習センター

■ 開所時間：9:00～17:30

窓口・電話対応：9:00～12:00，13:00～17:30

※新型コロナウイルス感染状況により変更になる場合がありますので、学習センターウェブサイトをご確認ください。

■ 閉所日：月曜・祝日休

〒321-0943 宇都宮市峰町 350(宇都宮大学峰キャンパス内)

【HP】<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/tochigi/>

【TEL】028-632-0572 【FAX】028-632-0570 【E-mail】tochigi-sc@ouj.ac.jp

「とちの実 第125号」は6月現在で栃木学習センターに在籍している学生にお届けしています。

次号は10月号発行予定です。(「とちの実」は年4回発行)